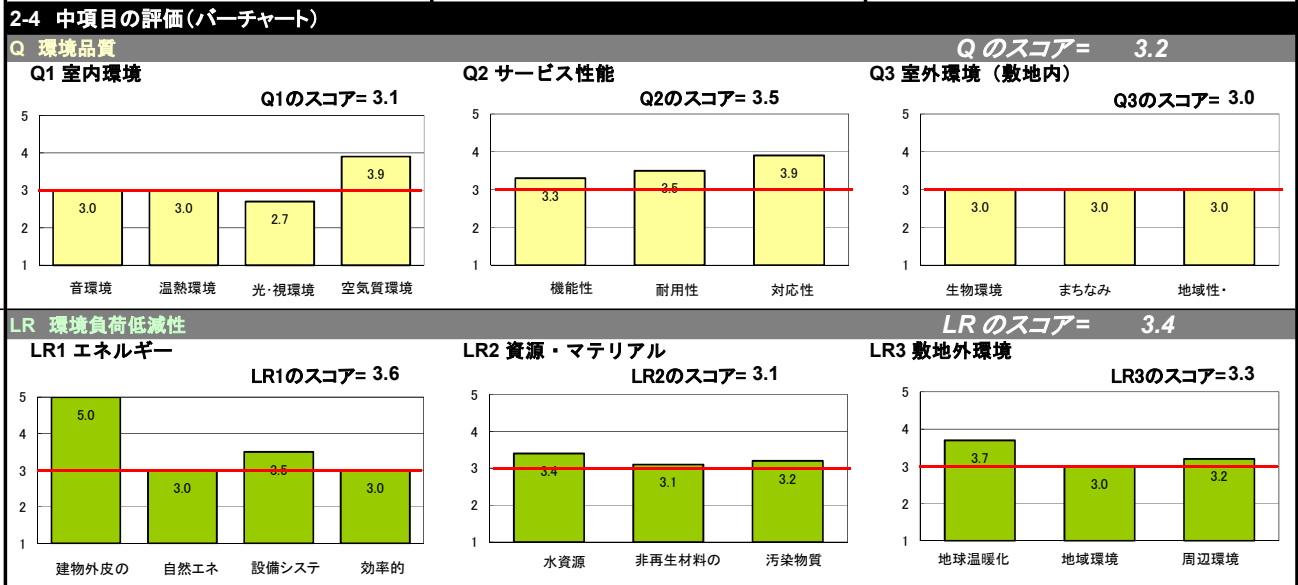
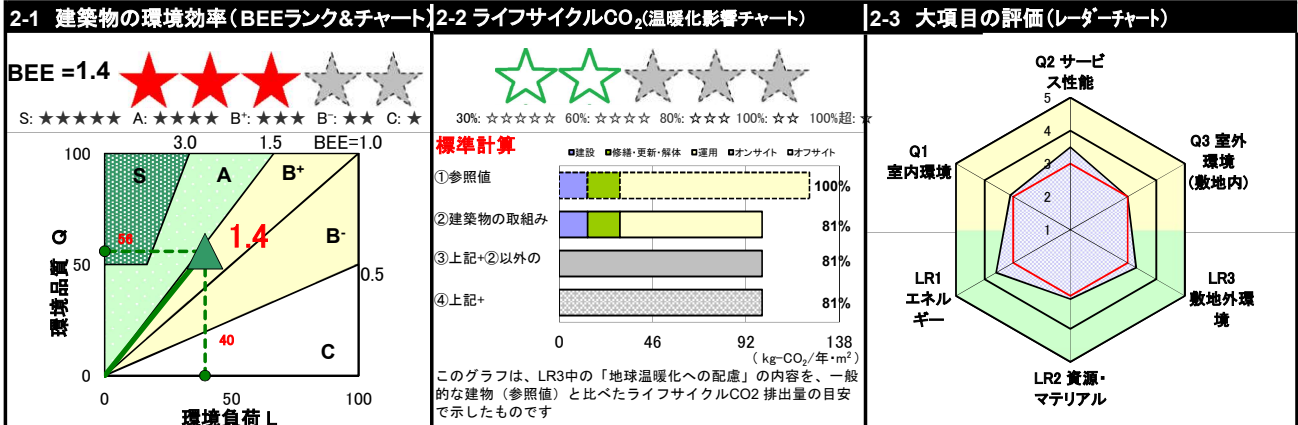


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	S3計画	階数	7階
建設地	神奈川県相模原市中央区 宮下一丁目224番327	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年7月 予定	評価の実施日	2024年5月1日
敷地面積	28,149 m ²	作成者	株式会社三菱地所設計 一級建築士事務所
建築面積	5,258 m ²	確認日	2024年5月1日
延床面積	27,450 m ²	確認者	株式会社三菱地所設計 一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項

総合	その他
CO ₂ 排出率の減少のために努力しています。	特になし。
Q1 室内環境 F☆☆☆☆建築材料を使用することで、室内空気汚染化学物質がない、室内環境の向上を図ります。	Q2 サービス性能 維持管理しやすい内装・外装を使用することで、建物の長寿命化を図ります。
Q3 室外環境(敷地内) 特になし。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 一次エネルギー消費率を達成することで、建物の低炭素化を図ります。	LR2 資源・マテリアル 仕上げ材の下地に軽量鉄骨を使用することで、躯体と仕上げ材が容易に分別可能となります。
LR3 敷地外環境 配光に配慮した、LED照明設備を使用することで、光害がない、室外環境の向上を図ります。	LR3 敷地外環境 配光に配慮した、LED照明設備を使用することで、光害がない、室外環境の向上を図ります。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される